



雄踏尋常高等小学校（浜名郡雄踏町宇布見）

田畑政治が目をつけた古橋廣之進は、雄踏尋常高等小学校山崎分校に通っていたが、4年生から本校に通うことになった。学校でも体格にたがわぬリーダーシップを発揮していたが、自宅近くの浜名湖にできたプールで、連日「魚に負けるものか」と無我夢中で泳ぎ続け、6年生の時の県大会では、100mと200mの自由形で全国学童新記録を樹立し、翌日の新聞には、「豆魚雷あらかる」という見出しで大きく紹介され、一夜にして注目の的となった。廣之進の活躍もあり、雄踏尋常高等小学校は全国競泳最優秀校の表彰を受けた。



当時の小学校



全国競泳最優秀校の表彰（盾を持つ廣之進）